

KVK サーモスタット式洗髪シャワー KF260(Z)NEN 〈各仕様共通〉 施工説明書

施工業者様へ 施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
 - ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

<p>警告</p> <p>湯水を逆に配管しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。必ず給水管が右側、給湯管が左側に配管されていることを確かめてください。</p>	<p>注意</p> <p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>注意</p> <p>加工及び接合、市販浄水器具の取り付け等の改造はしないでください。</p> <p>禁止</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p>警告</p> <p>給湯に蒸気を使用しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。</p>	<p>注意</p> <p>配管などの解氷のため解氷機をご使用の場合、水栓(給水・給湯管含む)には絶対に通電しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>通電すると水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>注意</p> <p>寒冷地仕様の場合 水抜きつまみは水抜き以外の目的で開けないでください。</p> <p>禁止</p> <p>水抜きつまみをいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p>注意</p> <p>温度調節ハンドルの目盛が、吐水温度と合っているか確認してください。</p> <p>取付現場の圧力状況により目盛通りの湯温にならず、やけどをすることがあります。</p>	<p>注意</p> <p>ストレーナの清掃は止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。また、操作の際は湯側止水栓が熱くないことを確認してください。</p> <p>禁止</p> <p>高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>注意</p> <p>器具に強い力や衝撃を与えないでください。</p> <p>禁止</p> <p>器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>

めっき部品は、ぶつたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。

禁止

めっきの表面が割れて、けがをすることがあります。万一めっきの表面が割れた場合は新しい部品に交換してください。

配管接続部をテーパねじに接続しないでください。

禁止

テーパねじに接続すると、接続部がゆるんだり、パッキンが切れたりして、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

小型電気温水器(即湯器)等に給湯ホースを接続する際は、ステンフレキ管等を介してください。

高温の熱により給湯ホースの寿命が短くなり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

寸法図

シャワーホース長さ 1100

取り付け前に

- ① 使用水圧 (A=(給湯器の最低作動水圧)+(配管圧力損失))
 - (1) 瞬間給湯器との組み合わせ(設定条件 水温:25℃ 給湯器温度調節:高温 吐水温度:42℃ ハンドル全開) (比例制御式) 最低必要水圧:A+50.0KPa(動水圧)、最高水圧:0.75MPa(静水圧)
 - (2) 貯湯式給湯器との組み合わせ (給湯・給水圧力) 最低必要水圧:A+50.0KPa(動水圧)、最高水圧:0.75MPa(静水圧)
- ② 吐止水ハンドルは全開で使用してください。給湯器が着火しない場合があります。
- ③ 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- ④ 給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ⑤ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
- ⑥ 給湯器の給湯温度は、50℃～60℃に設定することをおすすめします。
- ⑦ 給湯器からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑧ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑨ 本製品は、改造(加工及び接合、市販浄水器具の取り付け等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑩ シャワーホースを伝って水がキャビネット内に浸入するおそれがあります。水受けトレーの設置をしてください。
- ⑪ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

取り付け完成図と各部の名称 / 分解図

分解図
この分解図は製品説明図であり、サービス部品の単位を示すものではありません。

1	キャップ
2	ねじ
3	温度調節ハンドル
4	ねじ
5	ストッパーリング
6	ねじ
7	温調固定フランジ
8	取付フランジ
9	シートパッキン
10	デッキ厚調節パッキン
11	スペーサー
12	温調ボネットユニット
13	本体
14	吐止水ハンドル
15	吐水側固定フランジ
16	止水ボネットユニット
17	サーモスタットカートリッジ
18	ふた
19	パッキン
20	フレキホース
21	逆止弁ユニット
22	ストレーナ付逆止弁
23	パッキン
24	プラグ
25	キャップ
26	カブラー
27	シャワーホース
28	フランジ
29	スリップ板
30	輪パッキン
31	シートパッキン
32	シャワースタンド
33	ストレーナ
34	シャワーヘッド
35	シャワーフェイス
36	パッキン
37	整流器
38	ストレーナ
39	吐水口先ジョイント
40	クリップ
41	水抜き付きカブラー
42	ストレーナ付逆止弁(寒冷地仕様)

取り付け完成図と各部の名称

シャワーヘッド、シャワースタンド、温度調節ハンドル、吐水ハンドル、切りつまみ、ストッパー解除ボタン、ストッパーリング、ねじ、温調側固定フランジ、吐水側固定フランジ、シートパッキン、デッキ厚調節パッキン、スペーサー、本体、取付フランジ、シートパッキン、デッキ厚調節パッキン、スペーサー、逆止弁ユニット、止水栓(別売)、スパナ等、しめる

寒冷地仕様

取り付け手順 1

- 1 給水管内の清掃**
配管工事後、必ず給湯・給水管内を清掃してください。
- 2 止水栓(別売)と逆止弁ユニットの取り付け**
 - ① 止水栓を取り付けます。給湯管と給水管の間隔は100mm程度で取り付けます。水受けタンクまたはトレーを設置する場合は、水受けタンクまたはトレーの寸法をご確認の上、取り付けてください。寒冷地仕様の場合は水抜き栓付止水栓を取り付けてください。
 - ② 逆止弁ユニットを止水栓に接続します。

【注意】
・接続は適切な工具(スパナ等)で締め付けてください。締め付けトルクの目安は約2000N・cmです。締め付け不足や締め付け過ぎると、漏水の原因となります。
・薄肉の接続管(ニップル等)にはジョイントを接続しないでください。パッキンが切れ、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。
・止水栓がしっかり固定されていることを確認してください。固定されていないとフレキホースが抜け、漏水の原因となります。
- 3 部品の取りはずし**
本体から右図の各部品をはずします。

ねじ、ストッパーリング、温調側固定フランジ、吐水側固定フランジ、シートパッキン、デッキ厚調節パッキン、スペーサー、本体、取付フランジ、シートパッキン、デッキ厚調節パッキン、スペーサー
- 4 本体の固定**
 - ① デッキの板厚 t を確認します。
 - ② 右表に従ってスペーサー及びデッキ厚調節パッキンを本体に取り付けます。
 - ③ 本体はKVKマークを前向きにして、デッキの下からはめ込み、シートパッキンをはさみ、右側は吐水側固定フランジで、左側は取付フランジで固定します。

板厚 t (単位:ミリ)	1~3	3~6	6~9	9~12	12~15
デッキ厚調節パッキン	3枚	2枚	1枚	2枚	1枚
スペーサー	1枚	1枚	1枚	なし	なし

【注意】
締め付けは、二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと漏水するおそれがあります。

取付フランジ、シートパッキン、吐水側固定フランジ、シートパッキン、デッキ厚調節パッキン(スペーサー)、本体、デッキ厚調節パッキン(スペーサー)、KVKマーク前向き

